

研究機関のモニタリング指標によるフォローアップ調査※1 (令和2年度分(令和2年4月1日～令和3年3月31日までの分))

移転地域	対象機関	移転機関の連携者数 (共同研究・試験等のための連携者数)※2		移転先の職員配置数※2				共同研究等のテーマ数※2			備考
		連携者数	連携先 (R1から削除された連携先は青字) (R2から追加された連携先は赤字)	人数	正規職員	任期付職員	非常駐職員 ※3	テーマ数	内容 (R1で終了となったテーマは青字) (R2からの新規テーマは赤字) (各テーマの後ろに「該当年/研究期間(年数)」を表示)	合計予算額 ※単位:千円	
青森	(国研)海洋研究開発機構(JAMSTEC)	4 R1:4 H30:4 H29:4	青森県、八戸市、八戸工業大学、アイピー倶楽部	0	0	0	0	1 R1:1 H30:2 H29:2	・深海域におけるコンクリートの経年劣化の評価研究(4/8) ・参加型マイクロプラスチック環境教育国際プログラム(～R1)	1,300 R1:2,263 H30:1,480 H29:2,490	八戸工業大学工学部の2学科に横断する海洋学関係の副コースを開設
宮城	(国研)水産研究・教育機構(旧水研センター)	無回答	宮城県、気仙沼市、気仙沼水産研究連携協議会、水産庁	-	-	-	-	0		0	
山形	(国研)国立がん研究センター	14 R1:13 H30:6 H29:4	慶應義塾大学先端生命科学研究所、(公財)庄内地域産業振興センター、山形県、鶴岡市、(株)細胞科学研究所、大日本住友製薬(株)、ミクロン精密(株)、鶴岡市開発公社福井大学医学部、宮崎大学医学部、東京医科大学、国立長寿医療研究センター、北海道大学大学院獣医学研究センター、国立がん研究センター、群馬大学大学院医学系研究科	12 R1:12 H30:12 H29:12	2 R1:2 H30:2 H29:2	10 R1:10 H30:10 H29:10	0	12 R1:12 H30:4 H29:2	・代謝物解析研究(5/5) ・がん遺伝子産物解析研究(5/5) ・細胞培養用培地研究(3/3) ・抗がん剤新規探索研究(2/2) ・超音波治療効果検証研究(2/2) ・核酸代謝及び脂質代謝比較研究(2/2) ・代謝物分析及び発症予測マーカー同定(2/2) ・ATL特異的代謝機構研究(2/2) ・細胞機能と代謝物の関係性研究(2/2) ・がん化及び老化における細胞機能と代謝物の関係性研究(2/2) ・抗がん剤応用研究(～R1) ・二重阻害剤獲得耐性機構の解明(～R1) ・重粒子線の効果予測代謝マーカー同定(1/3)	212,276 R1:214,978 H30:210,202 H29:181,496	・平成28年度～令和2年度への取組みに係る評価を実施 ・内閣府特命担当大臣(地方創生)に対して、当該拠点の運営に対する財政措置について知事及び鶴岡市長が要望 ・移転をきっかけとして、鶴岡市立がん病院と国立がん研究センター東病院が、がん産物に関する連携協定を締結 ・引き続き共同研究を実施 ・がんメタボーム研究連携協議会を開催
福島	—	10 R1:9 H30:9 H29:9	福島県、経済産業省、大学・研究機関、企業、公益財団法人福島イノベーション・コスト構想推進機構、(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、無人航空機関連団体(JUAV,JUIDA,JUTM) ※施設の利活用における連携協定 NEDO、無人航空機業界3団体(JUAV,JUIDA,JUTM)、東京大学、東北大学、サイバーフィジカルAI研究センター、三重県、日本大学工学部、セントポール島アレウト族コミュニティ(米アラスカ州)、福島工業高等専門学校、総務省消防庁、大分県産業科学技術センター・NICTワイヤレスネットワーク総合研究センター	33 R1:23 H30:0 H29:0	3 R1:14 H30:0 H29:0	28 R1:7 H30:0 H29:0	2 R1:2 H30:0 H29:0	無回答	無回答	-	・空飛ぶクルマの社会実装に向けた実証試験環境の向上に関する調査事業 ・地元自治体や関係機関と連携して、福島県浜通り地域の沿岸部、湖沼、農地などを実証試験の場として仲介する支援 ・令和2年3月末の施設の全面開所に伴う各種イベント(ロボット・ドローンの実演展示会「ロボテックEXPO」等)を実施
新潟	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	20 R1:2 H30:2 H29:2	新潟県、南魚沼市 (国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	3 R1:3 H30:0 H29:0	3 R1:3 H30:0 H29:0	0	0	1 R1:1 H30:1 H29:1	・腸内細菌叢と生活習慣病発症の関連に関する研究(4/4)	41,570 R1:14,388 H30:13,523 H29:10,652	採取した検体を活用し、全国3地域(東京、大阪、山口)との比較や経年変化等を分析
富山	国立医薬品食品衛生研究所	4 R1:4 H30:4 H29:4	製薬企業、慶應義塾大学、富山大学、富山県薬事総合研究開発センター 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)	24 R1:24 H30:21 H29:20	22 R1:19 H30:13	2 R1:5 H30:7 H29:7	0	1 R1:1 H30:1 H29:1	・生薬の公的な規格・基準の設定のための成分分析法の確立及び分析試験(5/6)	3,000 R1:3,000 H30:3,000 H29:3,000	富山県薬事総合研究開発センター職員3名が研究班の共同研究者として参画。 <研究班会議等の参加実績> R2.8.20(第1回会議)、R2.8.26(第2回会議)、R2.12.17(第3回会議)、R3.3.17(第4回会議) <共同研究の実施> ・生薬(ニクジュウ)の定置試験を実施 ・生薬D(シヤクヤク)の室間再現性試験およびエビデンス調査を実施 ・生薬E-F(ニンジン・ユウジン)の効能についてメタ解析を実施
石川	(国研)情報通信研究機構(NICT)	4 R1:8 H30:8 H29:8	(一社)石川県情報システム工業会(ISA)、北陸先端科学技術大学院大学、総務省、経済産業省、石川県産業創出支援機構、いしかわ農業総合支援機構、石川県工業試験場、石川県 国立研究開発法人情報通信研究機構、戦略的プログラムオフィス、地域連携・産学連携推進室、北陸ICT連携拠点	21 R1:27 H30:28 H29:21	2 R1:4 H30:3 H29:3	14 R1:20 H30:21 H29:18	5 R1:3 H30:4 H29:0	2 R1:0 H30:0 H29:0	・IoT技術検証のための大規模エミュレーション検証技術の高度化及び利活用に関する研究開発 ／JAIST(北陸先端科学技術大学院大学)(5/5) ・大規模エミュレーションを用いた性能予測、解析、評価技術の開発及び基盤技術のHIRPの部分は応用のための研究／HIRP(ICT研究開発機能連携推進会議)	2,065 R1:0 H30:0 H29:0	研究会、アドバイザーの配置、IoTを活用した新製品・サービス開発や自社設備のIoT化等に係る案件に対し、石川県の「AI・IoTを活用した業務効率化・省力化支援事業」で支援
石川	(国研)産業技術総合研究所(産総研)	6 R1:18 H30:17 H29:14	石川県内の企業・大学、石川県産業創出支援機構、石川県工業試験場、石川県 石川県工業試験場、(公財)石川県産業創出支援機構	5 R1:3 H30:3 H29:3	4 R1:0 H30:0 H29:0	0	1 R1:3 H30:3 H29:3	29 R1:18 H30:16 H29:13	・ナノスケール表面反応現象(4/4) ・地中探熱システムの最適化およびポテンシャル評価(4/6) ・次世代テラヘルツ波光源の出力性能評価(2/2) ・リチウムイオン電池用負極材料の研究開発(3/3) ・CFRTP製品の製造技術開発(3/3) ・ナノメテリアル量産化用プラズマ装置の開発(3/3) ・超高強度鋼板塑性加工金型用硬質膜の実用化(～R1) ・合成酵素の改良デザイン(～R1) ・X線残留応力測定用X線源(～R1) ・熱電冷却モジュールの性能評価(～R1) ・疼痛および血流の改善に関する技術アドバイス(～R1) ・圧力分布センシングシート(～R1) ・太陽光発電の寿命予測(～R1) ・高性能プロセス用電子冷却モジュール(2/3) ・超硬合金積層造形による超薄肉長尺精密ジグ(2/3) ・関節痛治療用小型プレートの開発(2/3) ・X線残留応力測定用X線源(2/3) ・セラミックスの誘電特性評価(1/3) ・デジタル制御熱加工技術とエレクトロスプレーメッキ加工技術による導電率特性の高度化に関する研究開発(1/3)	209,483 R1:28,160 H30:10,308 H29:7,586	石川県工業試験場、石川県産業創出支援機構(ISICO)、及び産総研石川サイト、3者連携して、企業8社と12回オンラインにて面談、打ち合せを行った。また、石川サイト4周年記念講演会、イノベーションシンポジウム講演会、テクノリッジセミナー-石川を共催し、石川県次世代産業育成講座・新技術セミナーやマチュアリングハブ金沢へのブース出展などのイベントを通して県内企業とのマッチングを図る取組を行った。
福井	(国研)理化学研究所(理研)	3 R1:3 H30:3 H29:3	(公財)若狭湾エネルギー研究センター、福井県立大学、福井県	2 R1:2 H30:3 H29:3	0	0	2 R1:2 H30:3 H29:3	2 R1:2 H30:3 H29:3	・変異誘発技術の研究(4/5) ・重イオンビームによる育種技術の開発(2/5)	27,678 R1:47,971 H30:20,348 H29:31,828	引き続き育種に関する共同研究を実施するとともに育種連携研究拠点(イオンビーム育種相談窓口)による育種相談対応を実施。
福井	(国研)水産研究・教育機構(旧水研センター)	2 R1:6 H30:6 H29:5	小浜市、福井県立大学、福井県立若狭高等学校、福井中央魚市株式会社、田島水産株式会社、福井県農林水産部水産課、福井県水産試験場、福井県立大学、福井県立若狭高等学校、福井中央魚市株式会社、その他漁業者等	7 R1:0 H30:0 H29:0	7 R1:0 H30:0 H29:0	0	0	3 R1:3 H30:3 H29:1	・トラウトサーモン養殖技術(2/3) ・イワガキ養殖技術(2/3) ・サバ養殖技術(2/3)	10,053 R1:14,497 H30:58,435 H29:103,141	連携先と共同で一般向けのシンポジウムを開催した。
福井	(国研)産業技術総合研究所(産総研)	4 R1:3 H30:3 H29:3	福井県工業技術センター、(公財)ふくい産業支援センター、福井県「ふくいオープンイノベーション推進機構」構成機関の一部 ふくいオープンイノベーション推進機構 (県内公設試、産業支援機関、地元大学・高専、地元企業、地元金融機関、NEDO)	15 R1:14 H30:12 H29:11	0	0	15 R1:14 H30:12 H29:11	2 R1:7 H30:7 H29:8	・楽器の音響解析技術(～R1) ・ナノ材料製造・機能制御技術(～R1) ・スマートテキスタイル開発(～R1) ・革新的表面処理(高耐久化)技術(～R1) ・防草シートの劣化メカニズム(～R1) ・亜鉛ダイカスト上めつき被膜改質方法の検討(～R1) ・木質流動成形技術使用メカネフレーム(～R1) ・漁業資材・プラスチック包装材の分解機能(～R1) ・つながらる工場テストベッド事業 ・微量液滴アトマイズ法による金属粉末の革新的製造技術開発	137,014 R1:14,497 H30:58,435 H29:103,141	・産総研シーズを活用した活用した共同研究を新たに3件創出。 ・令和2年度に引き続き「つながらる工場テストベッド事業」を実施。

移転地域	対象機関	移転機関の連携者数 (共同研究・試験等のための連携者数)※2		移転先の職員配置数※2				共同研究等のテーマ数※2			備考	
		連携者数	連携先 (R1から削除された連携先は青字) (R2から追加された連携先は赤字)	人数	正規職員	任期付職員	非常駐職員 ※3	テーマ数	内容 (R1で終了となったテーマは青字) (R2からの新規テーマは赤字) (各テーマの後ろに「該当年/研究期間(年数)」を表示)	合計予算額 ※単位:千円		
静岡	(国研)水産研究・教育機構(旧水研センター)	無回答 R1:10 H30:10 H29:10	静岡商工会議所、静岡県中小企業団体中央会、東海大学、静岡大学、静岡県立大学、(国研)海洋研究開発機構、(一社)海洋産業研究会、(一社)日本船舶設計協会、民間企業、静岡市、 静岡市海洋産業クラスター協議会	-	-	-	-	0 R1:0 H30:0 H29:0	※共同研究事業は、H30年度で一旦完了しているが、他の水産系プロジェクトにおいても、協議会の枠組みを通じ、水産研究・教育機構より意見・助言を聴取し、継続している。	0 R1:0 H30:20,200 H29:27,990	静岡市海洋産業クラスター協議会に参画した。	
愛知	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	無回答 R1:3 H30:3 H29:3	愛知県農業総合試験場・田原市・農林水産省	-	-	-	-	2 R1:2 H30:2 H29:2	・キクの低コスト生産技術の開発と実証(5/5) ・ゲノム解析の成果を活用した花きの新品種開発(5/5)	16,740 R1:428,514 H30:377,536 H29:12,158	愛知県から農研機構へ依頼研究員を派遣(3か月)	
愛知	(国研)産業技術総合研究所(産総研)	2 R1:9 H30:7 H29:6	名古屋大学、名古屋工業大学、(一財)ファインセラミックスセンター、(一社)GaN研究コンソーシアム、 愛知県、民間企業(2社)	11 R1:28 H30:28 H29:27	4 R1:9 H30:7 H29:8	2 R1:10 H30:10 H29:10	5 R1:12 H30:10 H29:9	非公表 R1:10 H30:7 H29:6	・GaN/パワーデバイスのプロセス技術の高度化(4/5) ・GaN-LEDの微細プロセス技術の開発(4/5) ・機能複合プロセス技術の開発(4/5) ・GaN材料を用いたMOSトランジスタのプロセス開発および特性評価(4/5) ・GaN中にドープされたキャリアの定量的可視化に関する研究(3/3) ・GaN/パワーデバイスの高性能化と高機能電源回路の開発(1/3) ・他、民間企業と4テーマ 非公表	非公表 R1:428,514 H30:377,536 H29:237,061	機械学習、AIを用いた気相結晶成長技術への本格的な取り組み開始。	
滋賀	(国研)国立環境研究所	8 R1:2 H30:2 H29:2	滋賀県(滋賀県琵琶湖環境科学センター等)、しが水環境ビジネス推進フォーラム(参画企業、大学、団体等) 滋賀県琵琶湖環境科学センター	16 R1:20 H30:20 H29:16	2 R1:0 H30:0 H29:0	8 R1:13 H30:12 H29:9	6 R1:7 H30:8 H29:7	2 R1:7 H30:7 H29:7	・健全な水環境保全のための水質・湖底環境に関する研究(4/5) ・湖沼の生態系の評価と管理・再生に関する研究(4/5) ・生態系保全に向けた物質循環に関する研究(~R1) ・水草の管理による生態系再生に向けた研究(~R1) ・沿岸帯の再生に関する研究(~R1) ・在来魚保全に向けた水系の再生に関する研究(~R1) ・在来魚類の資源回復のための実証的放流実験及び再生産回復調査研究(~R1)	37,999 R1:95,777 H30:91,571 H29:91,055	琵琶湖の全層循環達成や未完了には気温上昇に加えて風速弱化も大きな支配要因であることがわかった。	
京都	(国研)情報通信研究機構(NICT)	0 R1:17 H30:17 H29:17	関西化学術研究都市推進機構、奈良県、大阪府、京都府、精華町、京都大学、奈良県立医科大学、同志社大学、奈良交通㈱、㈱島津アドコム、シスコンシステムズ合同会社、アドリンク㈱、㈱いはいはんな、オムロンイノベーションセンター、島津製作所、サントリーグローバルリサーチセンター、金融機関 ※R2年3月にリサーチコンプレックス事業が終了し、H31年3月にそれまで精華町において実施した「インフラに依存しない端末間情報通信に関する実証実験」が終了。	-	-	-	-	0 R1:2 H30:2 H29:2	・スマートモビリティに関する端末間通信ネットワークに関する研究(~R1) ・リサーチコンプレックスに関する異分野融合による超快適スマート社会の創出に関する研究(~R1)	0 R1:17,084 H30:20,020 H29:53,820	R1年度末まで取り組みは終了いたしました。	
京都	(国研)理化学研究所(理研)	8 R1:8 H30:5 H29:8	京都教育大学、奈良先端科学技術大学院大学、NPO法人架け橋mirai、京都府、京都産業21、木津川市、精華町、(公財)国際高等研究所(IIAS)	-	-	-	-	3 R1:3 H30:3 H29:3	・ATRIにて人の日常生活行動中の様々なセンサーデータと脳情報を統合的に解析する手法の研究開発などATRIにおいて、AIPセンター非常勤の研究室主宰者による防災や脳情報統合解析、計算脳ダイナミクスに関する研究(4/5) ・AIによる知識獲得に関する研究を活用して利用者の嗜好適合した情報をリアルタイムに提供する観光情報解析(4/5) ・国際高等研究所において、AIPセンター非常勤の研究室主宰者による人工知能倫理・社会に関する研究(4/5)	無回答	引き続き、理研革新知能統合研究センターの研究チームが国際高等研究所、株式会社国際電気通信基礎技術研究所、奈良先端科学技術大学院大学にて研究を実施。	
大阪	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所	4 R1:5 H30:5 H29:4	大阪府、吹田市、摂津市、(国研)国立循環器病研究センター、 厚生労働省	0	0	0	0	無回答	無回答	無回答	無回答	特になし
兵庫	(国研)理化学研究所(理研)	11 R1:12 H30:12 H29:12	神戸市、兵庫県、神戸大学、兵庫県立大学、塩野義製薬㈱、シスメックス㈱、阪急阪神ホールディングス㈱、㈱三井住友銀行、 日本電気株式会社、京都大学、神戸リサーチコンプレックス参画機関、関西健康・医療創生会議、公益財団法人神戸医療産業都市推進機構、㈱COPELコンサルティング、一般社団法人次世代健康社会・ヘルスケア推進協会	1 R1:5 H30:5 H29:4	1 R1:2 H30:2 H29:1	0 R1:3 H30:3 H29:3	0	無回答	神戸リサーチコンプレックスの後継事業である神戸リサーチコンプレックス協議会を通じた関西広域での産学連携窓口(1/5)	無回答	神戸リサーチコンプレックス協議会を通じた関西広域での産学連携窓口としての機能及び適切な推進体制の検討	
鳥取	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	2 R1:5 H30:5 H29:5	鳥取県、農林水産省、鳥取大学、 鳥取県園芸試験場、JA全農とっとり、農研機構	0	0	0	0	1 R1:1 H30:1 H29:1	「盆前に収穫でき、黒星病に強い梨品種」の育種(4/-)	3,200 R1:2,230 H30:4,130 H29:7,400	ナン新品種育成のための果実品質調査	
島根	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	1 R1:7 H30:7 H29:7	大田市、JA等各種団体等、農林水産省、島根県島根県中山間地域研究センター、島根県農林振興センター等、島根県畜産技術センター	28 R1:9 H30:9 H29:9	28 R1:8 H30:8 H29:8	0 R1:1 H30:1 H29:1	0	1 R1:2 H30:2 H29:2	・短期肥育技術の開発に係る研究(5/5) ・水田里山放牧に係る研究(~R1)	2,750 R1:32,610 H30:40,930 H29:57,430	短期肥育技術開発の共同研究試験結果取りまとめ	
広島	(国研)理化学研究所(理研)	6 R1:3 H30:3 H29:3	広島県(県立総合技術研究所を含む)、東広島市、広島大学、広島県立総合技術研究所、酒類総合研究所、産業技術総合研究所(中国センター)、(株)サタケ	9 R1:11 H30:7 H29:3	1 R1:1 H30:0 H29:0	5 R1:4 H30:4 H29:3	3 R1:6 H30:3 H29:0	10 R1:11 H30:5 H29:1	・細胞医療・細胞生物資源開発(5/5) ・有機系素材のナノ構造解析技術の開発(3/3) ・清酒酵母の細胞構造に関する研究(3/3) ・先端電子顕微鏡を用いた新たな放射線障害解析手法の開発(4/5) ・先端電子顕微鏡を用いた繊維毛コレステロール供給機構の解明(3/4) ・ヒト腎生検組織系球体の電子顕微鏡3D微細構造モデル構築による検討(3/4) ・米粒の先端計測ビックデータと深層学習・機械学習を利用する米一粒ごとの食味を判別する技術の開発(4/4) ・ゲノム編集技術で得られた生物試料の構造生物学的解析(1/2) ・牛受精卵における雌雄判別等の将来予測技術の開発(1/1) ・画像イメージング技術を利用した将来予測技術の開発(1/1)	無回答	広島大学と進行中の共同研究のうち2件(画像セグメンテーション解析自動化に向けた電子顕微鏡画像処理技術の開発、繊維毛コレステロール接着構造の3D超微細構造観察によるコレステロール決定における繊維毛病発症メカニズム解明)の成果が学術論文として発表された。	

移転地域	対象機関	移転機関の連携者数 (共同研究・試験等のための連携者数)※2		移転先の職員配置数※2				共同研究等のテーマ数※2		備考	
		連携者数	連携先 (R1から削除された連携先は青字) (R2から追加された連携先は赤字)	人数	正規職員	任期付職員	非常駐職員 ※3	テーマ数	内容 (R1で終了となったテーマは青字) (R2からの新規テーマは赤字) (各テーマの後ろに「該当年/研究期間(年数)」を表示)		合計予算額 ※単位:千円
広島	(独)酒類総合研究所	34 R1:13 H30:15 H29:12	広島大学、広島県、東広島市、広島中央サイエンスパーク立地企業・研究機関、(公社)東広島市観光協会、広島県立西条農業高校、福山大学、西條酒造協会、ほか広島県内の団体等5団体	82 R1:43 H30:45 H29:43	43 R1:39 H30:40 H29:37	3 R1:4 H30:5 H29:6	36 R1:0 H30:0 H29:0	34 R1:8 H30:10 H29:7	・醸造微生物に関する研究(3テーマ4テーマ)(1/1) ・酒類原料に関する研究(3テーマ1テーマ)(1/1) ・アルコールの健康・生体への影響の解析(4テーマ2テーマ)(1/1) ・酒類の成分の解析(1テーマ)(1/1) 無回答	不明 R1:1,190 H30:700 H29:700	コロナ禍で大きな取組を実施していない。
山口	(国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	2 R1:0 H30:0 H29:0	山口県、山口大学、(地独)山口県産業技術センター、(一財)宇宙システム開発利用推進機構、(一財)リモートセンシング技術センター、(一社)山口県情報産業協会、(一社)やまぐちGISひろば、JAXA宇宙教育センター、NPO法人子ども・宇宙・未来の会	4 R1:4 H30:4 H29:4	0	0 R1:2 H30:2 H29:2	4 R1:4 H30:4 H29:4	0 R1:7 H30:5 H29:4	・衛星データ活用による森林資源情報の把握や林地境界調査等での測位計測に関する研究開発(やまぐち産業イノベーション促進補助金:山口県)(1/2) ・衛星と操業のデータ活用によるスマート漁業情報連携システムの構築(やまぐち産業イノベーション促進補助金:山口県)(1/2) ・衛星データ解析による河川インフラ監視(やまぐち産業イノベーション促進補助金:山口県)(1/2) ・衛星データとIoT農業機械による国産パン小麦高収益生産の実証(課題解決に向けた先進的な衛星リモートセンシングデータ利用モデル実証プロジェクト:内閣府)(1/1) ・衛星による「ため池」把握・危険度判定・点検システムの実証(政府衛星データのオープン&フリー化及びデータ利用環境整備・データ利用促進事業:経産省)(1/1) ・みちびきを利用した視覚障がい者のスポーツ介助支援システム(みちびきを利用した実証実験:内閣府)(1/1) ・災害発生地域自動抽出システムの開発(山口県)(1/1) 無回答	0 R1:60,900 H30:33,900 H29:33,900	陸域観測衛星(ALOS-2)データの提供
山口	(国研)水産研究・教育機構(旧水研センター)	39 R1:10 H30:10 H29:10	山口県、下関市、山口県漁業協同組合、山口県以東機船底曳網漁業協同組合、下関中央魚市場(株)、下関唐戸魚市場(株)、下関水産物卸売協同組合、唐戸魚市場仲卸協同組合、山口県水産加工業連合会、山口県蒲鉾組合連合会、水産大学校、水産技術研究所、山口県水産研究センター	1 R1:3 H30:2 H29:1	1 R1:3 H30:2 H29:1	0	0	18 R1:3 H30:3 H29:3	・山口県沖底漁業の経営展開に関する研究(5/5) ・持続可能な沖底資源の管理手法の提案—沖底資源の分布と生息環境に基盤をのいた管理手法と漁具・漁法の提案—A(4/4) —B(4/4) ・底びき網漁で混獲される魚の有効利用に関する研究(4/4) ・魚介類由来セレノニン等機能性成分の高度利用技術開発(5/5) ・鮮度保持技術・品質管理技術と高度衛生管理技術についての現状把握(5/5) ・下関漁港の輸出促進策の提案(5/5) —山口県の特産品のフグの差別化(4/4) ・浜プランの成果を活用した地方創生策の提案(2/4/4) ・山口県における資源管理計画と浜の活力再生プランによる現場の取組の自己評価ツールの開発と改善案の同定(4/4) ・山口県における沿岸漁業の担い手対策検討(4/4) —漁業者(4/4) —浜の女性(4/4) ・水産加工技術の高度化による地域資源の高付加価値化(～R1)	52,520 R1:15,000 H30:15,000 H29:15,000	
山口	防衛装備庁艦艇装備研究所	0 R1:0 H30:0 H29:0	山口県、岩国市、高等教育機関	0	0	0	0	無回答	無回答	無回答	
香川	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)	1 R1:2 H30:2 H29:2	農林水産省、香川県 香川県農業試験場	92 R1:2 H30:0 H29:0	61 R1:2 H30:0 H29:0	0	31 R1:0 H30:0 H29:0	1 R1:4 H30:3 H29:2	・アスパラガスの成分分析および有用成分探索(3/5) ・四国拠点整備(事前調査パイプハウス等)(～R1) ・H28補正プロ「低コスト園芸ハウスの開発と機能向上」等の取組(～R1) ・温室栽培における昇温抑制技術の効果解析(～R1)	10,000 R1:18,300 H30:87,191 H29:19,080	香川県農業試験場の研究員を農研機構四国研究拠点(現・普通寺研究拠点)に派遣
高知	(国研)海洋研究開発機構(JAMSTEC)	無回答 H30:2 H29:2	高知大学(施設共同運営、連携大学院)、高知工科大学(ジオパーク関連ほか)、室戸市(ジオパーク推進課)、高知みらい科学館(アウトリーチ)、広島大学(連携大学院)、高知県教育委員会(高知大学と共同でCST養成育成事業を実施)	-	-	-	-	1 R1:1 H30:1 H29:1	海洋資源調査委託業務(1/1) ※R1、H30、H29も同様の業務を単年度で実施	8,687 R1:1,644 H30:2,886 H29:2,886	【高知大学との共同研究(海洋資源調査委託業務)】JAMSTECから提供された試料(海産物)からの微生物分離と抽出物の科学的分析 【工業技術センターとの共同研究(宇宙酵母)】令和元年度に宇宙酵母の冷凍保存株を培養を地産を育むプロジェクトに入れ、JAMSTECの研究室とともに培養実験に努めたが、引き上げ液が凍結できなかった。令和2年度には凍結環境でも生存が期待できる酵母を得るため、小型区画装置を用いて圧力に耐性のある酵母選抜と変異株の約200nmの水深約200mに沈めた(宇宙酵母)株。それ以外の酵母は4株と各酵母から選別し、圧力耐性酵母4株、合計100個。4株(菌株)に1株ずつ分け、生存した酵母を確認できれば、商業利用を目指す。 【アウトリーチ活動】11月12日に海洋コア総合研究センターにて、高知県立高知小津高等学校の4名SSH事業によるフィールドワークを実施
福岡(福岡市)	(国研)理化学研究所(理研)	3 R1:3 H30:3 H29:2	福岡市、九州大学、公益財団法人九州先端科学技術研究所	-	-	-	-	2 R1:2 H30:2 H29:2	・光学材料におけるエネルギー変換に関する共同研究(4/5) ・次世代精密加工による機能性表面・界面創成技術に関する共同研究(4/5)	無回答	令和元年度に引き続き、光学材料におけるエネルギー変換に関する共同研究(4年/5年)、次世代精密加工による機能性表面・界面創成技術に関する共同研究(4年/5年)を推進。
福岡(久留米市)	(国研)理化学研究所(理研)	8 R1:10 H30:8 H29:8	(株)久留米リサーチ・パーク、福岡県、久留米市、九州大学、久留米大学、(株)ファインテック、(株)CUBICStars、九州工業大学、NSマテリアルズ(株)、(株)ボナック、(株)ACCELStars	0	0	0	0	1 R1:3 H30:3 H29:2	・革新的な機能性食品の開発に関する共同研究(～R1) ・革新的医薬品等に関する共同研究(～R1) ・先端イメージング技術の開発に関する共同研究(3/3)	2,420 R1:17,678 H30:11,800 H29:20,412	・第1回プロジェクト会議を開催、共同研究の計画及び進捗について協議(9月) ※出席者:理研(和光、大坂)、大学、企業、久留米リサーチ・パーク、県、市 ・第2回プロジェクト会議を開催、共同研究の計画及び進捗について協議(3月) ※出席者:理研(和光、大坂)、大学、企業、久留米リサーチ・パーク、県、市 ・第2回成果活用委員会開催、共同研究成果の活用について協議(3月) ※出席者:大学、企業、久留米リサーチ・パーク、県、市 【共同研究などの実施】理化学研究所生命機能科学センターと久留米リサーチ・パークにて共同研究の実施契約を締結し、地域の大学等と先端イメージング技術の開発に関する共同研究を実施
福岡	(国研)産業技術総合研究所(産総研)	4 R1:5 H30:5 H29:5	福岡県、糸島市、九州大学水素材料先端科学技術センター、福岡大学、琉球大学	12 R1:12 H30:12 H29:12	4 R1:3 H30:4 H29:4	6 R1:6 H30:6 H29:6	2 R1:3 H30:3 H29:2	4 R1:4 H30:4 H29:4	・有限要素シミュレーションによる水素による疲労き裂進展(FCG)加速の特異な試験周波数依存性のモデリング(4/4) ・鉄系モデル金属(純鉄)の水素助長FCGメカニズム解明(4/4) ・鉄系実用金属(析出強化型合金A286)の水素助長延性低下メカニズム解明(4/4) ・非鉄系モデル金属(Cu-Ni合金)の水素助長延性低下メカニズム解明(4/4)	42,000 R1:84,316 H30:63,559 H29:48,714	○産総研—九大—福岡県による運営連絡会議 ○九州経済産業局、九州大学、福岡水素エネルギー戦略会議とともに、水素先端世界フォーラムを主催 なお、例年開催していた水素材料に関する日・中・韓国共同ワークショップは、新型コロナウイルスの影響で中止となった。
佐賀	(国研)医薬基盤・健康・栄養研究所	無回答 R1:4 H30:4 H29:4	玄海町、佐賀県、薬用植物資源研究センター、玄海町薬用植物栽培研究所、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	-	-	-	-	1 R1:無回答 H30:無回答 H29:無回答	・玄海町及び佐賀県内における薬用植物栽培の普及促進(4/4)	5,842 R1:無回答 H30:無回答 H29:無回答	薬草生産者との意見交換会開催(4回)
合計		188 R1:216 H30:208 H29:195		346 R1:244 H30:213 H29:191	180 R1:100 H30:85 H29:80	72 R1:55 H30:91 H29:75	94 R1:66 H30:47 H29:36	99 R1:116 H30:97 H29:84		438,100 R1:1,112,204 H30:1,130,808 H29:1,105,198	

(備考)
※1:モニタリング指標とは、第1回目の有識者懇談会において決定された、今後、研究機関・研修機関等をフォローアップしていくための指標
※2:「共同研究等のテーマ数」、「移転機関の連携者数(共同研究・試験等のための連携者数)」、「移転先の職員配置数」、「その他」については、平成28年度から継続しているものも記入。
例えば、平成28年度に開始した共同研究が平成29年度も継続している場合は記入。
※3:兼任や併任、クロスアポイントメントなどの勤務形態を持つ者
※政府関係機関移転基本方針(平成28年3月22日決定)(年次プラン)において位置付けられていない場合、または位置付けられているが実施予定年に至っていない場合は「-」と記載。

**研修機関等のモニタリング指標によるフォローアップ調査※1
(令和2年度分(令和2年4月1日～令和3年3月31日までの分))**

移転地域	対象機関	研修の参加人数			研修等のテーマ数※2		移転先の職員配置数※2				備考
		人数	研修受講者※2	講師引率等※2	テーマ数	内容 (H30、H29、R1で終了となったテーマは青字) (R2からの新規テーマは赤字)	人数	正規職員	任期付職員	非常駐職員※3	
秋田	(独)教職員支援機構	0 R1:135 H30:163 H29:187	0 R1:117 H30:140 H29:157	0 R1:18 H30:23 H29:30	0 R1:1 R30:1 R29:1	言語活動指導者養成研修	-	-	-	-	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。また、教職員支援機構より、同研修について当初の目的を達成したため令和2年度で終了する旨の通知があった。
富山	(独)教職員支援機構	0 R1:264 H30:249 H29:250	0 R1:185 H30:197 H29:194	0 R1:89 H30:52 H29:56	1 R1:1 R30:1 R29:1	キャリア教育指導者養成研修(第1回、第2回)	-	-	-	-	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。令和3年度の研修に向けての検討会を開催し、研修計画を作成。
富山	(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA)	0 R1:98 H30:100 H29:59	0 R1:60 H30:63 H29:46	0 R1:38 H30:37 H29:13	0 R1:4 R30:4 R29:2	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアGMP当局に対する視察研修(～H30) ・海外の薬事行政官を対象とした医薬品審査研修(～R1) ・医薬品の製造管理等に関する研修(JICA研修プログラムの一部)(～R1) ・アジアを中心とする薬事行政官を対象とした品質管理(漢方)研修(～R1) ・海外の査察担当者を対象としたGMP査察研修(～R1) 	6 R1:6 H30:6 H29:6	0 R1:0 H30:0 H29:0	1 R1:1 H30:1 H29:1	5 R1:5 H30:5 H29:5	県内製薬企業・大学等協力のもと、漢方薬の品質管理をテーマに研修実施。
石川	(独)国立美術館 東京国立近代美術館 工芸館	-	-	-	-	-	20 R1:0 H30:0 H29:0	4 R1:0 H30:0 H29:0	6 R1:0 H30:0 H29:0	10 R1:0 H30:0 H29:0	令和2年10月 移転・開館 10月～1月 開館記念展Ⅰ「工の芸術」 1月～4月 開館記念展Ⅱ「うちにこんなあったら」 国立工芸館を始めとした工芸に関連する周辺文化施設との相互割引制度の創設(通年実施)
福井	(独)教職員支援機構	0 R1:0 H30:184 H29:192	0 R1:0 H30:174 H29:182	0 R1:0 H30:10 H29:10	1 R1:1 R30:1 R29:1	小学校における外国語教育指導者養成研修	-	-	-	-	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。
山梨	森林技術総合研修所	0 R1:72 H30:46 H29:49	0 R1:57 H30:37 H29:38	0 R1:15 H30:9 H29:11	8 R1:3 H30:2 H29:2	<ul style="list-style-type: none"> ・森林調査研修(～H29) ・森林立地研修(～H29) ・森林計画(森林調査・計画策定)研修(～H30) ・森林計画(森林立地・施業技術)研修(～R1) ・無人航空機活用技術1研修 ・無人航空機活用技術2研修 ・森林立地・施業技術 ・生物多様性保全 ・特用林産 ・森林作業道設指導者・監督者 ・治山(基礎)1 ・木材産業・木材利用(基礎知識) 	16 R1:0 H30:0 H29:0	16 R1:0 H30:0 H29:0	0 R1:0 H30:0 H29:0	0 R1:0 H30:0 H29:0	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。
長野	自衛隊体育学校	7 R1:0 H30:0 H29:57	4 R1:0 H30:0 H29:43	3 R1:0 H30:0 H29:14	1 R1:0 H30:0 H29:2	<ul style="list-style-type: none"> ・レスリングチームの合宿(～H29) ・水泳チームの合宿(～H29) ・水泳班の合宿 	-	-	-	-	菅平高原観光協会(理事長・担当者)と自衛隊体育学校(指導部)、長野県と市の担当者による面談も実施。
岐阜	(国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	0 R1:87 H30:65 H29:49	0 R1:55 H30:42 H29:36	0 R1:32 H30:23 H29:13	0 R1:1 H30:1 H29:1	宇宙工学講座(～R1)	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ○岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 ・特別講演会での元JAXA宇宙飛行士による講演 ・はやぶさトークライブでのJAXA研究員による講演 ・引き継ぎ同博物館の評議員及び理事等にJAXA職員が就任 ○宇宙工学講座(参加者:県内高校生) ・元JAXA宇宙飛行士およびJAXA研究員よりビデオメッセージ(開講式) ・JAXA研究員による講義 ・JAXA筑波宇宙センターのリモート見学(開講式)

移転地域	対象機関	研修の参加人数			研修等のテーマ数※2		移転先の職員配置数※2				備考
		人数	研修受講者※2	講師引率等※2	テーマ数	内容 (H30、H29、R1で終了となったテーマは青字) (R2からの新規テーマは赤字)	人数	正規職員	任期付職員	非常駐職員※3	
岐阜	森林技術総合研修所	0 R1:2721 H30:35 H29:39	0 R1:1312 H30:23 H29:24	0 R1:149 H30:12 H29:15	1 R1:1 H30:1 H29:1	研修企画運営実務(先進事例学習)研修	-	-	-	-	研修生13名に対して、研修企画運営実務(先進事例学習)研修を実施。
三重	(独)教職員支援機構	947 R1:149 H30:156 H29:155	859 R1:124 H30:116 H29:121	88 R1:25 H30:40 H29:34	1 R1:1 H30:1 H29:1	・外国人生徒児童生徒等に対する日本語指導指導者養成研修	58 R1:0 H30:0 H29:0	38 R1:0 H30:0 H29:0	20 R1:0 H30:0 H29:0	0	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集合型研修は中止となり、独立行政法人教職員支援機構の主催でオンライン型研修として実施されたため、三重県は運営に関わっていない。
鳥取	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	-	-	-	-	-	5 R1:5 H30:0 H29:0	1 R1:1 H30:1 H29:0	0	4 R1:4 H30:0 H29:0	自動車機械部品製造業、自動車電装部品製造業向け人材育成プランの作成・公開、在職者に向けた研修の実施。
島根	(独)国際協力機構(JICA)	0 R1:25 H30:75 H29:75	0 R1:10 H30:10 H29:56	0 R1:15 H30:15 H29:19	0 R1:1 H30:1 H29:3	・ブータン全国総合開発計画プロジェクト研修の実施(～H29) ・アジア、アフリカ等の行政関係者を対象とした国土開発研修(～H29) ・ブータンの行政関係者を対象とした海士町研修(～R1)	3 R1:0 H30:0 H29:0	3 R1:0 H30:0 H29:0	0	0	JICAの青年研修ブータン「防災」を受託したが、コロナ禍の移動制限により来日できず、令和3年度にオンライン実施。
岡山	森林技術総合研修所	113 R1:34 H30:31 H29:44	69 R1:14 H30:12 H29:23	64 R1:20 H30:19 H29:21	1 R1:1 H30:1 H29:1	・木材産業・木材利用(先進事例学習)研修	-	-	-	-	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。
岡山	自衛隊体育学校	13 R1:27 H30:29 H29:22	13 R1:19 H30:23 H29:16	0 R1:8 H30:6 H29:6	1 R1:2 H30:2 H29:2	・女子ラグビーの合宿(～R1) ・陸上競技(競歩・中長距離)の合宿(～R1) ・陸上班の合宿	-	-	-	-	-
愛媛	(国研)海上・港湾・航空技術研究所(海上技術安全研究所)	227 R1:365 H30:303 H29:309	165 R1:288 H30:198 H29:227	62 R1:77 H30:105 H29:82	2 R1:4 H30:4 H29:4	・人材育成推進員研修(～R1) ・初任技能コース(～R1) ・専門技能コース(～R1) ・技術コース(～R1) ・今治地域造船技術講演会 ・船舶海洋工学研修	0	0	0	0	海上技術安全研究所による「今治地域造船技術講演会」及び「船舶海洋工学研修」
福岡	環境調査研修所	0 R1:129 H30:120 H29:124	0 R1:59 H30:62 H29:49	0 R1:70 H30:58 H29:75	0 R1:3 H30:2 H29:2	・廃棄物・リサイクル専攻別研修(～R1) ・国際環境協力基本研修(～R1) ・日中韓三カ国合同環境研修(～R1)	0 R1:11 H30:8 H29:12	0 R1:7 H30:6 H29:7	0	0 R1:4 H30:2 H29:5	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。
熊本	環境調査研修所	0 R1:85 H30:65 H29:86	0 R1:47 H30:37 H29:52	0 R1:38 H30:28 H29:34	0 R1:2 H30:2 H29:2	・環境問題史研修(もやい直しー水俣の経験から学ぶ地域再生ー)(～R1) ・環境問題史研修(教訓)(～R1)	1 R1:6 H30:6 H29:6	0 R1:3 H30:3 H29:3	0	1 R1:3 H30:3 H29:3	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。
大分	(独)国際交流基金	0 R1:198 H30:205 H29:197	0 R1:150 H30:156 H29:135	0 R1:48 H30:49 H29:62	0 R1:2 H30:2 H29:2	・日本語パートナーズ事業(派遣前研修)(～R1) ・日本語パートナーズ事業(カウンターパート研修)(～R1)	0	0	0	0	令和2年度における研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。
合計		1,307 R1:1,673 H30:1,776 H29:1,894	1,110 R1:1,097 H30:1,290 H29:1,399	217 R1:476 H30:486 H29:495	17 R1:28 H30:26 H29:28		109 R1:28 H30:25 H29:24	62 R1:11 H30:10 H29:10	27 R1:1 H30:1 H29:1	10 R1:16 H30:14 H29:13	

(備考)

※1:モニタリング指標とは、第1回目の有識者懇談会において決定された、今後、研究機関・研修機関等をフォローアップしていくための指標

※2:「研修等のテーマ数」、「研修の参加人数(受講者及び講師・引率等)」、「その他」については、平成28年度から継続しているものも記入

例えば、平成28年度に開始した研修を、平成29年度も継続して行っている場合は記入

※3:兼任や併任、クロスポイントなどの勤務形態を持つ者

※:政府関係機関移転基本方針(平成28年3月22日決定)(年次プラン)において位置付けられていない場合、または位置付けられているが実施予定年に至っていない場合は「-」と記載。